

事務事業 No./名称	□サービス部門 環境-02 環境基本計画推進事業 ■支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
	環境政策課 関連課				1314	環境基本計画推進事業	
主管課	環境政策課 関連課				1328	環境基本計画推進事業	
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	市域の環境マネジメント 市役所の環境マネジメント 環境に関する普及啓発						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考			
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状 況	決算値	30,787千円	8,749千円	指標と評価 指標 かまくらエコアクション21 等登録数 評価 ○			
	(国・県)	16,977千円					
	(負担金等)	212千円	228千円				
	(一般財源)	13,598千円	8,521千円				
	人員配置数	4.5人	3.0人				
	人件費	40,872千円	27,852千円				
	協働の パートナー	環境保全団体、商工会議 所等事業団体	環境保全団体、商工会議 所等事業団体				
事務事業 運営経費	総事業費	71,659千円	36,601千円	20年度	60	29	
	市民1人当 りの経費	406円	207円	21年度	90	44	
	対象者1人 当りの経費			22年度	90		
ベンチマ ーク(県外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	90		
				最終年度 (25年度)	90		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・「かまくらエコアクション21」に関心を持つ事業所に環境アドバイザーを派遣して登録を促している が、エコアクションへの関心が登録につながらない例が多い。 ・平成19年度の市域の温室効果ガスの排出量は、基準年である平成15年度に比べて6.3%減少した が、「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」の温室効果ガスの削減目標である21.9%を達成するた めには、市域の温室効果ガス排出量の約4割を占める家庭部門への取組をさらに推進する必要があ る。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・「かまくら環境保全推進会議」の「エコ企業プロジェクト部会」において小規模な事業者がより簡便な 方法で環境への取組を進める「エコショップ・エコ商店街認定制度」を開始した。 ・「かまくら環境保全推進会議」に温暖化対策を推進するための組織として「エコライフ認識プロジェ クト部会」、「エコライフ実践プロジェクト部会」、「エコ企業プロジェクト部会」を設置して、様々な取組を検 討し、「地球温暖化対策フォーラム」や1日版環境家計簿「エコライフ鎌倉」などを実施した。「住宅用太 陽光発電システム設置費補助金」や、電気自動車の導入、電気自動車用急速充電器を設置し、一般 利用を図るなどの新規事業を実施した。					
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・「かまくらエコアクション21」に関心を持つ事業所に環境アドバイザーを派遣して登録を促している が、エコアクションへの関心が登録につながらない例が多い。					
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・「かまくらエコアクション21」の普及を図るため、事業者の取組への関心が登録につながらない問題 点をリサーチし、サポート方法を検討するとともに、より簡便な方法で環境への取組を進めるエコ ショップ・エコ商店街認定制度に関する事業者への働きかけを推進する。 ・「緑のカーテン普及事業」、「省エネ啓発機器の貸出事業」、「住宅用太陽光発電システム設置費補 助金」などの施策を通じて、家庭部門における地球温暖化対策を推進する。 ・環境教育の出前講座や環境教育アドバイザーの派遣などを通して、地球温暖化対策の普及啓発に 努める。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	地球温暖化対策については、これ までの施策を継続するとともに家庭 部門へは「緑のカーテン普及事業」や 「住宅用太陽光発電システム設置費 補助金」などを、事業者へは「エコ ショップ・エコ商店街認定制度」などの 施策を実施して市域の温室効果ガス の削減に努める。 「かまくらエコアクション21」の普及 については問題点を把握し、登録へ 向けての取組を工夫し普及に努め る。			評価結果	改善の必要性	市域の地球温暖化対策を推進する ため、鎌倉市地球温暖化対策地域 推進計画プロジェクト事業を推進す る。
A	有				A	有	
課長名	鈴木 善博			部名・部長名	環境部 相澤 千香子		